

経営改善計画書(令和2年度～令和4年度)

団体名	公益財団法人鳥取市環境事業公社
-----	-----------------

様式2

現状と課題	下水道の普及に伴う尿や浄化槽業務の減少、産業廃棄物の処分料金の高騰など、当公社を取り巻く経営環境が厳しくなる中で、安定した収入を確保し、経費削減等により経営基盤の強化に努め、積極的に公益目的事業を推進し、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上等に寄与するためにサービスの向上を図ることが当公社の課題であると考えています。
経営方針 (令和4年度目標)	公益性を堅持し合理的かつ効率的な運営に留意し、健全経営に努めます。また、職員研修に力を入れ、職員一人一人の資質の向上を図ります。

視点	4年度目標 (期間内の最終目標)	年度	実行計画		実績		分析、評価コメント (経営改善効果)	市担当コメント
			取組内容	目標値	取組状況	実績値		
経営改革 <small>(財務面での長期見直し)</small>	経常収支比率 105%	2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新規顧客の開拓等により、直営事業収入の落ち込みを抑えます。 ・顧客管理システムの導入により顧客への適正料金の提示を行い、安定的な収入確保に繋げます。 ・可燃物処理場の移転に伴う収集ルート、車両、人員配置の見直しを行い、費用圧縮を図るとともに、料金見直し等について事業者の理解を求め、収益確保に努めます。 ・業務の効率化、支出の見直し等による経費削減の取り組みを進めます。 ・し尿収集や浄化槽管理の減少に対応し、料金見直しによる収益確保を検討します。 ・新規事業(廃棄物の中間処理)による収益確保を図ります。(令和3年度～) 	年間8時間 年間20名	・顧客の開拓、料金改定を改善項目どおり実施した	収益事業 前年対比 97,206千円の増	次年度以降も引き続き取り組んで行きたい。	市からの受託事業に依存する事の無いよう、新規顧客の開拓と体質改善の強化が必要。
					・収集ルートの見直しについては、車両運行管理システムを導入し、基礎となるデータの収集とシミュレーションを行った。	経常費用 前年対比 85,276千円の増	次年度以降も引き続き取り組んで行きたい。	
					・業務の効率化、支出の見直し等により改善項目どおり実施したが、前年度は消費税の還付があった関係もあり、経常費用は前年より増となっている。	未実施	次年度以降も引き続き経費削減に取り組んで行きたい。	
		3年度		・し尿及び浄化槽の料金審議会については、令和3年度以降に実施予定	未実施	次年度以降に実施を予定している。		
				・食品廃棄物の中間処理を令和2年9月より開始し、成果物の堆肥の販売を同年12月より開始した。	令和2年度販売実績 396千円	次年度以降も引き続き取り組んで行きたい。		
				・新可燃物処理場移転に伴う料金改定を行った。	契約件数 3,329件	予定通り料金改定を完了した。		
		4年度		・新可燃物処理場移転に向けて、効率的な収集ルートの見直しを行った。	未実施	令和4年度から新ルートによる収集を開始するが、状況により適宜見直しを行いたい。		
				・し尿及び浄化槽の料金審議会については、状況を見ながら開催の是非について判断したい。	販売実績 94t	令和4年度の開催については、状況を見ながら判断したい。		
				・有機質肥料「土壌」の販売を行った。(造粒機の故障により粉状のみ販売)	未実施	造粒機の導入により、令和4年度から粒状も販売する。		
		・会計基準を現金主義から発生主義へ変更した。		対象件数 3,329件	想定外の事態ではあったが、事業所に理解をいただくことができた。			
		・新可燃物処理場のトラブルにより本稼働が延期となったため、令和3年度に料金改定を行った事業所に対し減額措置を行った。		未実施	令和5年度から改めて新ルートによる収集を開始するが、適宜見直しを行いたい。			
		・し尿及び浄化槽の料金審議会については、状況を見ながら開催の是非について判断したい。		販売実績 172t	令和5年度以降の開催については、状況を見ながら判断したい。			
・有機質肥料「土壌」の販売を行った。(粉状・粒状)		造粒機の導入により、粒状の販売を開始した。						
組織改革 <small>(組織見直し、人材育成)</small>	各業務における必須資格取得の完備	2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・体系的な職員研修計画に沿った研修を行います。 ・職員が業務に係る関連法令等の認識を深めることによる適正な処理、顧客への説明を推進すべく積極的な研修の実施を行います。 ・専門部署に限らず部門横断的な判断ができる幹部職員を育成します。 	年間8時間 年間20名	・新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた研修が一部実施できなかった。	外部研修参加 延べ144名	次年度以降も引き続き取り組んで行きたい。	適正な人員確保と人材育成に努める必要がある。
		3年度			・新型コロナウイルス感染症の影響で一部の研修ができなかったものの、概ね予定通り実施した。	外部研修参加 延べ215名	次年度以降も引き続き取り組んで行きたい。	
		4年度			・新型コロナウイルス感染症の影響で一部の研修ができなかったものの、オンライン研修等を利用し、概ね予定通り実施した。	外部研修参加 延べ787名	次年度以降も引き続き取り組んで行きたい。	
公益増進 <small>(顧客サービスの向上、社会貢献)</small>	年3台	2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等により職員の資質向上を図り、サービスの向上に繋がるように取り組みを進めます。 ・福祉・医療施設への車椅子等の提供を行います。 ・ホームページやSNS等を活用し、積極的な情報発信に努めます。 	年3台	・全職員を対象としたルール研修を行い、職員の資質向上に努めた。	全職員が参加	次年度以降も計画的に研修を行い、職員の一層の意識の向上を図りたい。	公益財団法人に相応しい職員の資質向上、サービスの向上に、より一層努める必要がある。
		3年度			・鳥取市立病院へ車いすの寄贈を行った。	3台	次年度以降も引き続き取り組んで行きたい。	
		4年度			・鳥取市へホイールローダーを寄贈した。	1台	次年度にユニック車を寄贈予定。	
			・ホームページを更新し、情報発信に努めた。		新着情報、内容を適宜更新	次年度以降も引き続き取り組んで行きたい。		
			・鳥取市立病院へ車いすの寄贈を行った。		3台	次年度以降も引き続き取り組んで行きたい。		
			・ホームページを更新し、情報発信に努めた。		新着情報、内容を適宜更新	次年度以降も引き続き取り組んで行きたい。		
			・鳥取市立病院へ車いすの寄贈を行った。		3台	次年度以降も引き続き取り組んで行きたい。		
			・ホームページを更新し、情報発信に努めた。		新着情報、内容を適宜更新	次年度以降も引き続き取り組んで行きたい。		